

～正しい知識と理解の促進を～

## 「性の多様性（LGBT）」について管理職研修を開催しました

性的マイノリティに関しては、現在国内において、「同性パートナーシップ制度」を創設する自治体の増加や、「同性婚に関する集団訴訟」など、様々な動きがあります。性的マイノリティに対する関心が高まり、「ダイバーシティ（多様性）」という言葉が一般的に使われるようになる中、依然として当事者に対する誤解や偏見があることも事実です。そこで、行政職員として正しい知識と理解を促すために管理職が知識を身に付け、本市における正しい理解の促進を図るため、5月17日（金）、性的少数者に関する理解の促進に取り組んでいる「NPO法人 しずおかLGBTQ+」の代表理事 細川 知子 氏を講師に招き、研修を開催しました。

メディアなどでも取り上げられることが多くなったLGBT※。典型的な異性愛者とは異なる性のあり方を持つ人は、全人口の約8%と言われ、これは「左利き」「血液型がA B型」の人と同程度、日本の苗字トップ4「佐藤」「鈴木」「田中」「高橋」を足した数より多く、身近に居ながらも気付いていなかったLGBT当事者の存在に気付かされました。同じ社会に生きる仲間として、これからどのように接していけばよいか考えるきっかけとなりました。

また、講師から性的指向と性自認を表す「SOGI（ソジ）」という言葉について、当事者だけでなく全て



の人に当てはまる概念として説明されました。

どの場にもLGBT当事者がいるということを理解し、行政職員として今後も、正しい理解と知識を促すため、啓発に取り組んでいきます。

※LGBT

レズビアン（女性同性愛者）・ゲイ（男性同性愛者）・バイセクシュアル（両性愛者）・トランスジェンダー（性別越境者）の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称として用いられます。